

## 第9回目

2012年8月17日(金曜日)

18:00 ~ 19:00

元安橋東詰からスタートし本通り、金座街を往復します。毎週金曜に歩きます。

飛び入り歓迎  
槍が降ったら中止します

## 広島2人デモ

雨天  
決行

いてもたってもいられなくなった仕事仲間と恥も外聞も捨てて仕事の合間にたった2人でも歩く。それが2人デモです。黙っていたら社会人としてだけではなく、企業人としても恥。

野田首相!あなたは恥を知るノダ!

調査・文責: 哲野イサク  
チラシ作成: 網野沙羅  
連絡先: sarah@inaco.co.jp



[http://www.inaco.co.jp/hiroshima\\_2\\_demo/](http://www.inaco.co.jp/hiroshima_2_demo/)

### 非人間的な 関電の節電要請

驚くべきことに、**今なおかつ政府・関電は、関電管内で節電を要求**しています。関西広域連合もまだ10%節電を申し合わせています。これは、今夏使用電力が少なかったのは、「**節電効果**」と**主張し、またウソを認めないため**です。しかし善良な人ほど、「お上」のいうことは何でも信じる人ほど、一生懸命節電しています。そのため体調を崩したり、熱中症で死亡する人もでています。小規模零細業者の中には自身の商売を犠牲にしている人もでています。これ以上**非人間的な、嘘で固めた「節電」**を許してはなりません。

### マスコミが報じない資料 地震の巣の上の 大飯原発

今回再稼働した3号機、4号機**(18日21時再起動)**は、かつて断層がずれたことを示す**断層破碎帯の真上に乗っている**ことが判ります。3号機・4号機は地震の巣の上に乗っているのです。

**(大手マスコミはこの資料を報じていません)「大飯原発事故」の前に再稼働を止めましょう。**

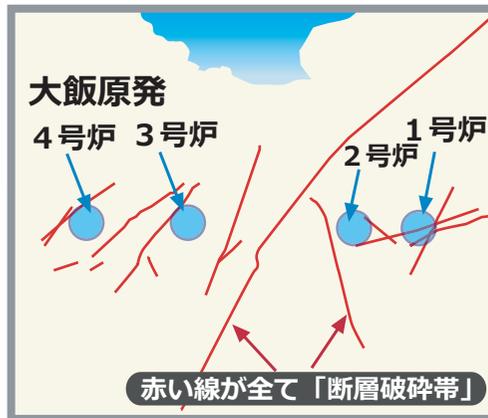
## 「福島原発事故は終わっていない」

(国会事故調報告 - 2012年7月5日)

# 関電

黙っていたら "YES" と同じ

# ウソで固めた再稼働 嘘を認めさせ 大飯原発再稼働の取り消しを それが民主主義というものです



出典: 原子力安全・保安院「地震・津波に関する意見聴取会」  
第19回平成24年7月17日配布資料  
「地震・津波19-4」P7  
「大飯発電所地質水平断面図 (EL+3m)」図をトレース処理  
<http://www.nisa.meti.go.jp/shingikai/800/26/019/240717.html>

### どうしたら原発を止められる？

東京の首相官邸周辺では毎週十数万人規模の「再稼働反対抗議行動」が行われています。大きな力です。しかし原発の息の根を止めるにはそれだけでは不十分です。そのためには、

1. 反原発・反被曝を日本の基本政策とする
2. その政策を掲げる政治グループが国家権力を掌握する
3. その政治グループが政府を組織する

ことが必要です。何党でも構いません。この政府を「反原発・反被曝緊急国民政府」と呼びます。

### 「原発なしで電力足りない」はウソでした。 次の脅しは間違いなく 「電気料金値上げ」

8月は半ばを過ぎ関電管内も「夏休みモード」に入っています。とうとう**今夏、関電管内ピーク時最大電力使用は8月3日(金)の2681万kWが最大**でした。政府・関電の「**原発なしでは最大15%の電力不足**」は**大ウソ**であることがはっきりしました。検証してみると大手マスコミを使った政府・関電の「ウソ・キャンペーン」は、4月から着々と準備していたことがわかります。「電力不足」の脅しはもう使えません。しかし、彼らは大飯原発の次の再稼働をあきらめたわけではありませ**ん。次に使う脅しは間違いなく、「原発なしでは火力発電の燃料費がかさみ、電力会社は赤字、電気料金の値上げ」**でしょう。東京電力管内ではそれを理由に家庭用電気料金がこの**9月1日から平均8.46%の値上げが実施**されます。これも**ウソ**です。ウソを丁寧に検証しておく必要があります。

## 【表の見方と解説】

### 原発除く関電の供給能力

ピーク時 **3,111 万 kW** 以上

### 実際最大使用は

ピーク時 **2,681 万 kW**

「原発なしで電力足りない」はウソでした。

### 政府・関電・関西広域連合・大手マスコミのウソ

を今、検証しておく必要があります。

この8月12日のNHK「日曜討論」で民主党幹事長・輿石東氏は『**これからの原発再稼働へ向けての原子力規制委員会の成立**』とついでを滑らせました。民主党野田政権は大飯原発に続いて**次の再稼働を考えていることは明瞭**です。「電力不足」の脅しはもう使えませんが、次に使う脅しは電力料金値上げです。**もう欺されてはなりません。これ以上欺されるのは欺された方が悪い**ということになります。**欺されないためには「ダマシの手口」をしっかり検証しておくこと**です。

下の表は、政府・関電の「ダマシの手口」を検証するには格好の材料です。「認可最大発電設備能力」は**2010年度関西電力有価証券報告書**に掲載されている数字です。関西電力は「**火力発電 1691 万 kW、水力発電 378 万 kW、揚水発電 442 万 kW、計 2511 万 kW**」の設備能力があると証券市場に報告しているわけですが、もし正当な理由なしにこの数字が確保できていなければ、当然**証券市場からペナルティ**を受けます。ところが**政府・関電はこの生産能力のことは触れなくて供給能力**といういい方で**誤魔化し**をしました。政府・関電は原発なしでピーク時供給能力は約 2542 万 kW だとしました。(数字はその時で微妙に変わります)それは自社発電分と他社受電を合計した数字です。他社受電のうち他電力会社からの供給(融通電力)は、他も逼迫しているので 110 万 kW が最大だとしました。ところが実際には融通電力は平均 126kW あります。よく見ると土・日になるとこの融

通電力は 200 万 kW から 250 万 kW に増えます。中部電力・北陸電力・中国電力も**電気はじゃぶじゃぶに余っている**のです。またこうした余りの電力は**火力発電と水力発電を抑制して調整**しています。火力発電の設備利用率は 74.1%、水力にいたっては 70% 以下に常に抑制しています。

「需要予測」にいたっては**もっと悪質**です。政府・関電は今年の夏の最大需要を 3015 万 kW としました。これは東電福島原発事故前の 2010 年の数字を使って予測したものです。すでに節電で**需要が 2784 万 kW だった 2011 年の数字を使わなかった**のです。この理由として使われたのが「2010 年並の猛暑」でした。2784 万 kW の 11 年実績では需要が過大に見せかけられないためです。しかし、**関電を取りまく電力需給関係は大きくこの 1 年で変わっていました。大規模事業者は自前の発電設備をもち、関電に依存しなくなった**のです。また大阪瓦斯や神戸製鋼所など次々と大規模火力発電所を稼働させて関電に販売する体制を作っていました。そのため、今夏ピーク時最大電力が 2681 万 kW とさらに昨年を下回る水準だったのです。決して節電のためではありません。

こうした実情を事前に政府・関電は知らなかったのでしょうか？ そんなはずはありません。**知っていました。そしてその上でウソをついた**のです。そして**このウソを増幅・拡大して国民の恐怖をおおったのが NHK、朝日新聞、共同通信をはじめとする日本の主要マスコミ**でした。

## 関西電力 ピーク時電力供給量と内訳 (2012年8月2日から8月15日)

単位はすべて万 kW  
「最高気温」は関電発表のその日の最高気温

2012 年				認可最大発電設備能力			火力発電		水力発電		揚水発電		原子力	他社受電						
日付	曜日	最高気温	ピーク時供給実績	ピーク時使用実績	ピーク時刻	ピーク時	ピーク時率	ピーク時	ピーク時率	ピーク時	ピーク時率	一定出力	ピーク時	内非融通	率	融通電計	中部	北陸	中国	
						<b>1,691</b>		<b>378</b>		<b>442</b>		<b>977</b>								
夏休みモード	8月15日	水	32.3℃	2,500	<b>2,004</b>	19:00	<b>1,108</b>	65.5%	<b>247</b>	65.3%	<b>353</b>	79.9%	236	<b>558</b>	<b>517</b>	92.7%	<b>41</b>	10	2	29
	8月14日	火	29.7℃	2,379	<b>1,948</b>	19:00	<b>1,123</b>	66.4%	<b>244</b>	64.6%	<b>337</b>	76.2%	236	<b>440</b>	<b>413</b>	93.9%	<b>27</b>	10	2	15
	8月13日	月	33.0℃	2,455	<b>2,074</b>	19:00	<b>1,170</b>	69.2%	<b>243</b>	64.3%	<b>371</b>	83.9%	236	<b>436</b>	<b>409</b>	93.8%	<b>27</b>	10	2	15
	8月12日	日	34.6℃	2,468	<b>2,066</b>	19:00	<b>1,085</b>	64.2%	<b>242</b>	64.0%	<b>432</b>	97.7%	236	<b>473</b>	<b>446</b>	94.3%	<b>27</b>	10	2	15
	8月11日	土	32.7℃	2,786	<b>2,123</b>	15:00	<b>1,116</b>	66.0%	<b>238</b>	63.0%	<b>448</b>	101.4%	236	<b>730</b>	<b>489</b>	67.0%	<b>241</b>	170	22	49
	8月10日	金	33.8℃	2,890	<b>2,477</b>	14:00	<b>1,303</b>	77.1%	<b>252</b>	66.7%	<b>432</b>	97.7%	236	<b>668</b>	<b>527</b>	78.9%	<b>141</b>	76	6	59
	8月9日	木	34.2℃	2,847	<b>2,434</b>	16:00	<b>1,273</b>	75.3%	<b>250</b>	66.1%	<b>424</b>	95.9%	236	<b>664</b>	<b>522</b>	78.6%	<b>142</b>	76	7	59
	8月8日	水	34.6℃	3,002	<b>2,410</b>	14:00	<b>1,415</b>	83.7%	<b>252</b>	66.7%	<b>432</b>	97.7%	236	<b>666</b>	<b>524</b>	78.7%	<b>142</b>	76	7	59
	8月7日	火	34.4℃	3,026	<b>2,528</b>	14:00	<b>1,435</b>	84.9%	<b>256</b>	67.7%	<b>406</b>	91.9%	236	<b>693</b>	<b>551</b>	79.5%	<b>142</b>	76	7	59
	8月6日	月	36.0℃	3,023	<b>2,625</b>	15:00	<b>1,435</b>	84.9%	<b>246</b>	65.1%	<b>448</b>	101.4%	236	<b>659</b>	<b>517</b>	78.5%	<b>142</b>	76	7	59
	8月5日	日	33.3℃	2,488	<b>2,144</b>	17:00	<b>1,078</b>	63.7%	<b>234</b>	61.9%	<b>281</b>	63.6%	236	<b>660</b>	<b>457</b>	69.2%	<b>203</b>	164	3	36
	8月4日	土	34.8℃	2,759	<b>2,296</b>	14:00	<b>1,195</b>	70.7%	<b>248</b>	65.6%	<b>337</b>	76.2%	236	<b>742</b>	<b>492</b>	66.3%	<b>250</b>	170	24	56
今夏最高	8月3日	金	36.7℃	2,999	<b>2,681</b>	14:00	<b>1,433</b>	84.7%	<b>253</b>	66.9%	<b>357</b>	80.8%	236	<b>719</b>	<b>559</b>	77.7%	<b>160</b>	76	7	77
	8月2日	木	36.0℃	2,859	<b>2,650</b>	15:00	<b>1,375</b>	81.3%	<b>249</b>	65.9%	<b>402</b>	91.0%	236	<b>696</b>	<b>556</b>	79.9%	<b>140</b>	76	7	57
	ピーク時平均			<b>2,749</b>	<b>2,319</b>		<b>1,253</b>	<b>74.1%</b>	<b>247</b>	<b>65.3%</b>	<b>390</b>	<b>88.2%</b>		<b>629</b>	<b>503</b>	<b>75.7%</b>	<b>126</b>	<b>72</b>	<b>11</b>	<b>45</b>

- 関西電力の「原発」と「新エネルギー」を除くピーク時最大発電能力は、火力、水力、揚水合計 2511 万 kW。(認可発電設備ベース)
- 他社受電は、IPP (独立発電事業者)、自家発電設備などからの契約による購入あるいは余剰電力の購入及び他電力会社からの融通電力。
- 資料出典は関西電力ホームページ「でんき予報」の「過去の使用電力実績ダウンロード」及び「関西電力有価証券報告書 平成 23 年度」

### 8月16日(夏休みモード)の運転停止火力発電所

喜撰山発電所 1号機	▲15万kW(作業)	海南発電所 1号機	▲45万kW
喜撰山発電所 2号機	▲15万kW(作業)	海南発電所 2号機	▲45万kW
相生発電所 1号機	▲38万kW	海南発電所 4号機	▲60万kW
相生発電所 2号機	▲38万kW	他社電源	▲28万kW
堺港発電所 2号機	▲36万kW(作業)		
計 320 万 kW			

### 8月16日(夏休みモード)の出力抑制発電所

赤穂発電所 2号機	▲15万kW(作業)
海南発電所 3号機	▲20万kW(作業)